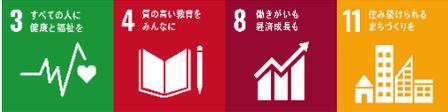


おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

NO.	企業等名	取組概要	関連ゴール
1	株式会社アークル	<p>株式会社アークルでは清涼飲料水を自動販売機を通して販売することにより、地域の皆様に寄り添って快適な暮らしのお手伝いをしております。そんな中での SDGs にまつわる主な活動は下記の取り組みとなります。</p> <p>①省エネ対策・・・ヒートポンプ機能搭載の省エネ自販機の積極的導入をして CO2 排出量の削減を図ります。</p> <p>②災害対策・・・災害時に飲料を提供できる災害対策ベンダーを推進します。</p> <p>③地方創生・・・地元スポーツクラブに協賛をしてスポーツを通じて賑わいのある小田原を見せ続ける機会の提供に努めます。また、湘南電力が供給する再生可能エネルギーを地域の取引先を中心に普及促進していきます。</p>	 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を</p>
2	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 小田原支社	<p>当社は社会のさまざまな課題の解決に向けて、事故の防止、安心・安全な社会の構築に資する商品・サービスを提供するなど、持続可能な社会づくりに貢献することを目指します。</p> <p>■地域社会への貢献活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ベルマーク財団協賛企業としての取組や障がい者スポーツ振興など <p>■課題解決支援メニュー</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆中小企業支援:SDGsや労務リスク対策・サイバーリスク対策などのセミナー実施 ◆介護福祉:終活や介護事業者を対象としたセミナー実施 ◆危機管理:BCP セミナーの実施やハザードマップ提供による自然災害対策、避難活動の最適化と防災意識の啓蒙 <p>■まちの魅力向上支援メニュー</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆安全運転支援サポートサービスを付加したテレマティクス自動車保険の販売により、予防安全に効果的な保険の普及を図る ◆テレマティクス技術を活用した「交通安全 MAP」の作成 ◆ユニバーサルマナーセミナーや障がい者スポーツ体験イベント開催 	 <p>1 貧困をなくそう 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを</p>

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

<p style="text-align: center;">3</p>	<p style="text-align: center;">愛の家グループホーム(小田原前川・小田原久野)</p>	<p>・認知症専門施設として認知症に関する知識の復旧に努めています。①地域の小学校で認知症サポーター講座を開催し、講座受講後にはホームで認知症の方々との交流を深め触れ合っていていただく。②認知症高齢者が店番をする駄菓子屋を施設内で営業。来客者(主に小学生)が認知症の方と触れ合う事で認知症に対する理解を深めていただく。①②ともに核家族化が進んだ現在において、高齢者とのかかわりを通じて高徳的な教育の場になる事も狙った取り組みです</p> <p>・③駐車場を提供し自治会と合同で夏祭りを開催。④また月1回施設内で認知症カフェを開催しています。これにより地域との交流を図りまちの活性化に努めています。また、参加いただいた地域の方々が「認知症になっても住み慣れた地域で、こんなに楽しく生活できるんだ」と未来への希望に繋がる事ができればとも考えています。⑤「かながわ介護サービス等向上宣言」を行っており、その中でサービスの質や人材育成、処遇改善等について一定の水準を満たしている優良介護事業所に選ばれ「かながわ認証」をいただいています。</p> <p>⑥入居施設としてだけでなく、在宅(地域生活の継続)への貢献を考え「共用デイサービス」「短期入居生活介護」を併設しています。</p> <p>地域の認知症の方、ご家族様方介護相談なども行っています。</p>	
<p style="text-align: center;">4</p>	<p style="text-align: center;">旭丘高等学校生徒会</p>	<p>旭丘高等学校生徒会は、学校参加、地域参加、社会参加の活動を通してSDGsとかわる地域や地球規模の様々な課題について“Think Globally Act Locally”の視点で学び行動しています。具体的には、全学教育研究集会や全学協議会、まちづくりシンポジウムに参加し、学校とまちに係わる様々な問題に意見表明をし、全学と地域の皆さんと対話し学びを深めています。さらに、生徒会の管轄している様々なクラブ(相撲部、吹奏楽部、演劇部、野球部、陸上部など)が地域で積極的に活動をしています。また、毎年6月に行われている、山王川久野川一斉清掃活動には全校に有志を募り50名規模で参加をし、地域の方と交流しています。その際に集められた落ち葉や雑草などを地域の方が堆肥化して本校第2校地の学習用農地に寄贈し</p>	

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

		<p>てください、授業に活用しています。社会参加の活動としては、国際人権 A 規約 13 条(中等高等教育の無償化)の実現とかかわる私学助成運動に全学各パートの皆さんとともに毎年参加しています。また、毎年2年生は長崎修学旅行で原爆資料館の見学、被爆者の方の講話、原爆の碑めぐり等の平和学習ををおこない、核兵器と平和の問題について学習しています。</p>	
5	一般社団法人足柄茶ラボ	<p>地域の特産である「足柄茶」を軸にした地域の情報発信、足柄茶の需要拡大、及び新たな需要発掘を行い、地域活性化に寄与することを目的に活動しています。「足柄茶の総合案内人」である足柄茶コンシェルジュの育成と、活動マネジメント、研修。足柄茶の美味しい淹れ方等の講座、ワークショップなどのイベント、講座の企画運営。足柄茶を使ったスイーツ等の製品、メニュー開発等のコンサルティング、後継者のない茶畑での茶の耕作実習や、体験プログラムの、その他、足柄茶と地域の魅力を発信することに関する各種研究、消費者と足柄茶生産者を繋ぐ新たな可能性を創出する活動を行っています。</p>	
6	<p>特定非営利活動法人 WE21 ジャパンおだわら</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭で不要となった衣類や雑貨を寄付して頂き販売するリサイクルショップを、市内で2店舗展開し、収益から途上国などへの支援を行うことで、公正で平和な世界を目指しています。 ・店舗で販売しきれなかった衣類は、協力する古繊維業者を通してリユース・リサイクルのルートに乗せ、使う側の責任として可能な限りの廃棄物削減に協力しています。 ・支援先は国内外に及びますが、海外は主にアジアの女性や子供たちの健康増進・教育の機会均等に寄与するプログラムを選んでいきます。また毎年10月『貧困なくそうキャンペーン』期間中の収益からは、安全な水の供給行動や女の子の早すぎる結婚の強要を防止する計画に支援しています。 ・東日本大震災以降は、国内支援にも取り組み、被災地の仮設住居への移動図書館プロジェクトや、放射能測定値の高い地域で暮らす子供たちの沖縄での保養活動などに支援をしてきました。 	

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

		<p>・2002年の開業以来、地域の商店会会員として地域の活性化のための活動にも参加してきています。</p>	
7	株式会社ういろ	<p>人々の健康を願った薬とお菓子の販売をしております。関連する文化を通じて内外の人に日本人として心を豊かにする機会を提供するなど、各観光催事に協力しております。</p>	 <p>3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>
8	株式会社ANコーポレーション(洋食居酒屋ラ・パルールド)	<p>【地産地消と食の安全】 地元の契約農家の野菜を中心に、県西の食材を使った美味しく、健康、安心安全な食事の提供に取り組んでいます。店舗だけでなく、お弁当のデリバリーも行っており、高齢者や子育て世代などの要望に合わせたメニュー作りにも力を入れています。</p> <p>【出会いの機会づくり】 昨年より独身のお客様からの発案で「出会いの場」の要望があり、婚活イベントも店内外で企画し開催しています。実際に2組が結婚に至り、幸せな家庭を小田原で気づいています。企画から運営、司会もつとめ、若者たちを応援しています。</p> <p>その他、おでんまつりをはじめ、市内のイベントに積極的に参加し、地域の盛り上げに取り組んでいます。</p>	 <p>2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう</p>

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

9	エコロジカルコミュニティあ おいほし	<ul style="list-style-type: none"> ・あおいほし(地球)を次世代に渡せるよう、命の源である「水」を大切に暮らすを提案します。 ・せっけんなど、環境に負荷をかけないものを使う暮らし方を啓発、実践します。 ・化学物質を多用しない暮らしを模索します。 ・学んだことを講座やイベント、通信発行を通して広めます。 	
10	オセアンケアワーク株式会 社 施設名:ハーティオセア ン小田原	<p>当社は「あらゆる人々に適切な支援と真心のこもった行動で、喜びや満足そして幸せを提供し、地域の人々の健康と豊かな社会に貢献する」を経営理念として、高齢者グループホームやデイサービスを運営(小田原市1施設、横浜市戸塚区に4施設)しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設での食事は、管理栄養士が監修して、要介護高齢者の嚥下や咀嚼の状況に合わせて「刻み食」「ペースト食」などの食事を提供して、低栄養予防に取り組んでいます。【1・2】 ・生活保護受給者の受け入れ人数に制限を設けず、誰でも必要なサービスを平等に受けられるような体制を整備しています。【3】 ・施設従事者の経験、資格等に応じた昇給や定期昇給判定の仕組みを設け、さらに資格取得支援や正社員雇用への転換も随時実施しています。【8】 ・社員全員が「かながわプラごみゼロ宣言」に登録し、ごみの分別収集などを実施して環境保護に寄与しています。【14】 <p>今後の取り組みとしても、団塊の世代の方が後期高齢者になる2025年問題に向けて、高齢者グループホーム整備を積極的に展開してまいります。令和2年3月1日栢山にて高齢者グループホーム開設予定です。【17】</p>	
11	株式会社小田原魚市場	<ul style="list-style-type: none"> ・県西地域の拠点市場である小田原市公設水産地方卸売市場の卸売事業者として、小田原市をはじめとする周辺3市9町を中心とした消費者の皆さんに高鮮度で安全・安心な水産物を安定的に供給できるよう、その役割を果たしています。 	

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

		<ul style="list-style-type: none"> ・「小田原の魚ブランド化消費拡大協議会」の構成員として、未利用・低利用の魚の活用をはじめとした地場の魚の認知度向上、高付加価値化や消費拡大、料理教室の開催などを通じた魚食普及・食育・地産地消の取組に加えて、市場や市場近隣で働く女性のPRにも努めています。 ・あじ地魚まつりやみなとまつりといったイベント開催を通じて、地域の水産業や漁業に対する理解を深めていただくための取組をしています。 ・漁業者や漁港関係者、地元関係者の皆さんと協力しながら、小田原漁港をはじめ、早川海岸、御幸の浜海岸等の清掃活動を行って、環境保全などに取り組んでいます。 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>14 海の豊かさを まもろう</p> </div> </div>
12	小田原衛生グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・廃食用油を回収し、バイオディーゼル燃料を自社精製、使用によりクリーンエネルギー普及と CO2 排出削減に貢献しています。 ・湘南電力株式会社の代理店として、地域へ再生可能エネルギーを使用した、クリーンな電力の普及を促進しています。 ・高校生たちにペイントパッカー制作を通して、ゴミや環境問題への関心を高める取組を実施しています。 ・株式会社 REXEV と協力し、EV カーシェアリングの普及を通して、地域のエコモーダルシフトを促進しています。 ・給水配管の黒錆化により長寿命化を図る、「ザ・バイオウォーター」の販売を通して、安全な水の提供と、持続可能な技術の普及に努めていきます。 ・自社各事業所、事務所で従来電灯から LED への更新を徹底しています。 ・地域住民へ、単独浄化槽を合併浄化槽へ更新することを提案し、BOD の削減を促進しています。 ・省エネ型浄化槽設置に対し補助金制度を設け、浄化槽の新設、更新を促し、CO2 	<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>6 安全な水とトイレ を世界中に</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>7 エネルギーもみんなに そしてクリーンに</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられる まちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;">  <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>17 パートナシップで 目標を達成しよう</p> </div> </div>

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

		<p>削減へ貢献しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「クリーンさかわ(酒匂川清掃活動)」へ参加し、美化活動及び清掃ボランティアへ従事。 ・「山王川・久野川一斉清掃」へ参加し、美化活動及び清掃ボランティアへ従事。 ・地域住民へ、下水道への切替を提案し安全で綺麗な下水施設、衛生施設へのアクセスを普及することに努めています。 	
13	<p>おだわら環境志民ネットワーク</p>	<p>本ネットワークは、小田原で環境活動に取り組む団体及び個人の連携協力体制を築き、小田原の美しく豊かな自然を守り育てることにより、「自然豊かな小田原で暮らせる喜び」を感じられる地域を未来の子どもたちに引き継ぎ、もって持続的かつ魅力的な地域圏としての日本のさきがけを体現することを目指しています。</p> <p>現在、約 40 会員が所属し、小田原の森里川海からなる自然資源の維持・保全、活用に資する様々な活動を行っています。また、環境省「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトへの賛同、「地域循環共生圏」関連事業への参画など、持続可能な社会に向け、地域の資源を生かした地域づくりにも取り組んでいます。</p> <p>(代表的な事業)</p> <p>■放棄竹林対策プロジェクト</p> <p>放棄竹林の解消と伐採竹の有効活用の推進を図る事業。伐採竹の一部は竹炭にし、小田原市が進める生ごみ堆肥化事業「段ボールコンポスト」の発酵促進材として活用を検討しているほか、市有施設内にある藤棚の部材として活用するなど、地域資源を循環させる取組を行っています。</p>	
14	<p>小田原市漁業協同組合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の皆さんに安全安心で新鮮な魚を届けるため、水揚げ直後から船の水槽で「殺菌冷却した海水」と「氷」を使って鮮度を保持しています。 ・魚価下落防止のため市場に出荷調整している魚は、施設で加工品にして販売するなど、有効活用しながら魚の販路や消費拡大に繋げています。 ・水産資源保護や将来の漁業のため、稚貝・稚魚の放流をしています。 	

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

		<ul style="list-style-type: none"> ・ムラサキウニが増殖すると海藻が減少して、海藻を餌としているサザエ等の水産生物が減少してしまうため、捕獲して水産資源を守りながらキャベツ等の餌を与えることで良質ウニとして活用する取組をしています。 ・未利用・低利用のミズカマスを活用の「かます棒」販売・普及に取り組んでいます。 ・漁師として活躍している女性組合員の育成に努めています。 ・みなとまつり等のイベント開催を通じて地域水産業や漁業理解を深めていただくための取組をしています。 ・漁港や海岸の清掃活動を行って環境保全に取り組んでいます。 	
15	<p>おだわらゼロカーボン推進会議</p>	<p>おだわらスマートシティプロジェクトは、「青く澄んだ空を子どもたちにバトンタッチしよう」を合言葉に、環境・エネルギー分野における持続可能なまちづくりに資する諸事業を行い、小田原市をスマートシティ※にすることを目的に活動しています。</p> <p>※スマートシティ:賢くエネルギーが使われている、地球環境にやさしいまちをいう。</p> <p>(事業の柱)</p> <p>① 自動車をはじめとしたライフスタイルに関する環境技術の普及促進に係る調査研究及び啓発活動 ②創・蓄・省エネルギーの推進 ③再生可能エネルギーの普及促進 ④関係機関との連携及び協力</p> <p>これらを柱とし、本会のネットワークを生かした公開講座や子ども向けの出前講座・体験教室の実施、小中学生対象のコンクール事業の実施、エコカーの展示等ライフスタイルの転換を促す「おだわらスマートシティフェア」の開催、家庭向け省エネ取組拡大事業の実施等の活動を行っています。</p>	
16	<p>有限会社小田原保険サービス</p>	<p>新たな技術の出現や社会を脅かすリスクの変貌などの環境変化に迅速・的確に対応し、安心・安全な社会の形成やお客さまの利便性向上を図る。災害対策BCP (Business Continuity Plan)講習MaaS (Mobilty as a Service)の普及活動を通じ未来の小田原が暮らしやすい地域になるように交流を行っております。</p>	

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

<p style="text-align: center;">17</p>	<p style="text-align: center;">温暖化防止アクショングループ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、神奈川県地球温暖化防止活動推進員西湘地区の会員です。 ・神奈川県内の小学校高学年を対象に環境・エネルギー学校派遣事業“いま地球が大変！すぐ始めよう地球温暖化防止”を実施しています。県内25校、市内7校で実施してきました。今後も継続実施します。 ・小田原市内の市民団体、民間企業（例えば小田原ガス(株)、鈴廣蒲鉾(株)）や自治会を対象に地球温暖化の原因とその対策について、講座・各種機器による省エネ実践講習をしています。また、家庭における省エネの実践法として省エネナビゲーターによる使用電力量の見える化を進めています。機器はNPO法人省エネセンターから無償貸与してくれています。これにより、家庭における使用電力量の削減が進んでいます。 ・小田原市で実践されている、スマートシティプロジェクトに参加して市の再生可能エネルギーの促進に協力しています。エネルギーの地産地消による経済の活性化・耕作放棄地の有効利用に向け、協力していきます。 	
<p style="text-align: center;">18</p>	<p style="text-align: center;">学生服リユース shop さくらや 小田原店</p>	<p>当店は幼稚園から高校生までの制服や体操服類、学校用品専門のリユースショップです。卒業やサイズが合わなくなったなど、役目を終えた制服等を買取し、クリーニングや補修をして蘇らせ、その学校に通っているまたは通う予定の方にのみ販売する子育て世代の家計応援のお店です。各家庭での教育費の考え方は様々で、制服よりもその子の伸ばしたい事に使いたいというニーズに応えることで、この地域の子ども達により良い教育が出来るお手伝いが出来ればと思っております。2019年度は学校バサー（白山中学校・城南中学校・大窪小学校）に参加させて頂きお手伝いさせていただきました。</p> <p>今後も地域の皆様のお役に立てるよう活動して参ります。さくらやではすべての子供たちが夢と希望をもって成長していける社会の実現を目指す内閣府『子供の未来応援国民運動』に参画しています。役目を終えた学生服を活用した学校用品寄付を企業等のみなさまと一緒に取り組み、貧困家庭や子どもへの支援に繋げて参ります。</p>	

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

<p style="text-align: center;">19</p>	<p style="text-align: center;">加藤建設株式会社</p>	<p>当社は建物に「新しい価値、美しい未来」をコンセプトに掲げ、地域住民に対し安心した街づくりに協力していきます。</p> <p>公共工事を通じて建築物の外壁改修改修、内部改修、高耐震・耐震改修等のリノベーションを行うことで、古くなった建物を壊すのではなく、安全、快適かつ末長く使えるようお手伝いをしています。</p> <p>リノベーションで建物そのものの延命化を図るだけではなく、今まで使われていなかった場所に新しく魅力的な機能を持つ施設を作り、建物全体の価値を高める御提案もしています。</p> <p>このほか、リノベーションにより整備された住宅などは、新築よりコストを抑えて供給することができるのも魅力の一つです。</p> <p>改修によって建物の価値を向上させ、新たな利用を生み出すことで、建物の利活用を通じた地域の活性化にも寄与します。建て替えを回避することも省資源、廃棄物削減の一助となっています。</p> <p>総合的な工期短縮や建物の長寿命化、建築コストや二酸化炭素排出量の削減を達成することができるため、企業として積極的に取り組んでいます。</p> <p>また、小田原市建築事業協同組合の組合員として、小田原市との災害時における応急仮設住宅建設等についての防災協定に基づき、災害復旧に迅速に対応し、安心、安全な地域社会の復興に尽力します。</p>	 <p>7 エネルギーもみんなに そしてクリーンに 8 働きがいも 経済成長も 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 11 住み続けられる まちづくりを 12 つくる責任 つかう責任</p>
<p style="text-align: center;">20</p>	<p style="text-align: center;">かながわ西湘農業協同組合</p>	<p>●経営理念</p> <p>JAかながわ西湘は、豊かな自然環境に育まれた郷土を愛し、地域に根差した農業と食文化を守り、総合事業をとおして地域社会の発展と心豊かなくらいsの実現に貢献します。</p> <p>●理念に基づく取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の担い手の営農全般を支援します。また、行政や関係機関と連携し、新規就農者や定年帰農者を支援します。 	 <p>3 すべての人に 健康と福祉を 15 陸の豊かさも 守ろう</p>

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

		<ul style="list-style-type: none"> ・食の安全・安心に関する取り組みを強化します。 ・農業者が農業経営を維持できるよう提案型の営農支援活動を強化します。 ・食の農に関する情報を地域に発信し、食農教育活動を通じて農業の重要性を伝えます。 ・地域に寄り添った協同組合として、組合員・地域住民の要望に応えられるよう協同活動を展開します。 ・広報誌やコミュニティー誌を通じて、食と農に関する情報を地域に発信し、農業の理解促進を図ります。 ・関係機関と連携した農政活動を強化し、将来にわたり安心して農業経営が継続できる農業政策に取り組みます。 	
21	株式会社 五神建設	<p>◇【防災や減災】</p> <p>五神建設では、緊急時に備え燃料や重機、衛星電話、資材等の確保をし、災害時に迅速な対応ができる体制を整えています。</p> <p>また、自治体と協定を結び防災や減災への取り組みを強化しています。</p> <p>◇【災害に強いまちづくり】</p> <p>（神奈川県西部で初の地下シェルター『SOTOCHIKA』の販売特約店です）</p> <p>水害・地震などの自然災害が多い近年においては、身近に避難スペースを確保し人的被害を抑えなければなりません。現在の住宅を維持しながら庭や駐車場に設置可能な地下シェルターを低コスト・短工期で提供することで、災害に強い街づく支援しています。</p> <p>◇【地域社会への貢献】</p> <p>緊急避難用及び、防災備蓄倉庫として、当社駐車場にも地下シェルターを設置し、いざという時、地域住民への炊き出し等の提供ができるよう、水や食料、テント付きトイレ等を備蓄しています。また、様々な防災用品も取り扱っています。</p>	 <p>4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を 17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

22	株式会社コバヤシ	<p>ユニフォーム事業部においては、不要になった作業服を回収し、衣料品のリサイクルを実施し、再生ポリエステル生産に協力する。再生ポリエステル生産は石油由来のポリエステル再生に比べ 50%以上の CO2 削減を達成できます。また、気候変動による猛暑の環境下で作業しやすいウェアやグッズを提案します。イベント事業部では小田原バスケットボール協会・ダイナシティの協力を頂き、毎年 3X3の大会を開催し、小学生の部では小田原市を中心とした西湘地域の小学生の交流を図り、コミュニティの強化、まちの活性化に努めています。</p>	
23	シニアネットワークおだわら &あしがら(略称:SNOA)	<p>○シニア世代の年齢・男女を問わず、好きな時間に好きな活動に参加できるよう、会員同士のつながりを大切にし、そのネットワークを活かして活動しています。</p> <p>○「シニアが輝くゴールドタウン小田原」の実現をめざして、小田原市ほか9団体で構成する小田原市生涯現役推進協議会に参加し、シニア世代の就労支援やボランティア活動紹介に取り組んでいます。</p> <p>○早川地区の耕作放棄されたみかん畑を再生する「みかん農園プロジェクト」に取り組み、栽培技術の修得とともに自然の中で体を動かし、健康的な生活づくりに取り組んでいます。</p> <p>○「みかん農園プロジェクト」では県や大学と連携して、みかん農園の新たな活用策や多世代交流の仕組みづくりにも取り組んでいます。</p> <p>○みかん畑の再生を通して、地域の活性化と県西地域の特徴であるミカン畑の見える美しい風景を守ることをめざしています。</p> <p>○学習環境に恵まれない小中高生を対象に英語の補習教室を開いています。</p> <p>○県が取り組む「かながわ人生100歳時代ネットワーク会議」に参加し、コミュニティづくりのアイデアを学んでいます。</p>	

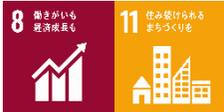
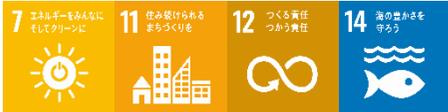
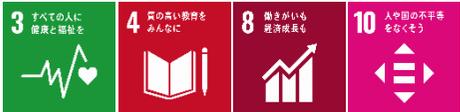
おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

24	下曽我おせっ会	<ul style="list-style-type: none"> ・医療介護福祉職と地域包括支援センター・地区社協や自治会・民児協・消防団・JA 婦人部・駐在所・日赤奉仕団などが協力し 1 年に 4～5 回のイベントを開催。健康づくりや認知症・熱中症・振り込め詐欺や防災など様々なテーマで地域住民と対話を重ね啓発活動をしています。 ・上記イベントが地域コーディネーターや民児協の勉強会の場になっていると共に下曽我おせっ会が各団体の繋ぎ役の役割も担っています。 ・毎年 6 月には下曽我おせっ会と地域住民からなる「きずなチーム」と地域包括支援センター そが・しもそが・こうづとが協力し地域圏域ケア会議を開催。今年度からのサロンへのデイ施設のバス送迎へと繋がりました。 ・ふらっと下曽我などのサロンに医療介護福祉職が毎月交代で参加し住民の健康づくりのアドバイスをを行っています。 ・ルビリバ祭りやおだわら五郎十郎市など近隣のイベントにも協力し健康相談や介護相談に乗っています。 ・メンバーである医療介護福祉職の中での多職種連携のみならずそれぞれのメンバーと地域住民や各団体との連携も進み地域包括ケアシステムの構築に役立っています。 	 <p>3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>
25	城下町スポーツクラブ	<p>『スポーツを通して地域づくり・まちづくり・ひとづくりを目指します』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が集まることで仲間づくりをします。 ・地域の活性化を目指します。 ・スポーツにはルールがあることから、社会にもルールがあることに気づかせ、青少年の健全な心身の育成をします。 ・地域社会の健康増進を図り、いきいきシニアライフが送れるように援助します。 ・身体の発達段階に沿って、からだを動かす喜びを与えていきます。 ・障害がある人・ない人分け隔てなく、個人が動かせる機能を発揮できるよう指導します。 	 <p>1 貧困をなくそう 3 すべての人に健康と福祉を 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

<p>26</p>	<p>株式会社 湘南第一興商 小田原支店</p>	<p>音楽・うたを通してストレス発散など健康促進につながる。カラオケがストレス解消に効果があることが、医学的に明らかになりました。ストレス改善に社会貢献します。その中で、エルダービジネスとして超高齢化社会・少子化時代にセッションインストラクター（音楽健康指導士）とエルダーカラオケで、介護予防・健康増進・健康寿命の延伸の実現に向けて役立つよう地域の健康づくり介護予防に取り組んでいます。介護・医療施設、自治体・民間施設、高齢者施設、要介護福祉施設。デイサービスなどで活躍しています。過去に小田原アリーナで敬老の日に健康体操イベント(500人くらいの高齢者)とセッションを致しました。2015年から5年間、継続中。平塚市、中井町、真鶴町なども健康体操を定期的に行っております。生活機能向上として、運動・口腔・認知の3つの機能改善点を目指す。高齢者の方は人生最後まで笑って元気で人と人がつながる社会へ協力いたします。未病に取り組む為に高校授業でエルダーシステムを活用。本年8月14・15・16日に小田原アリーナで開催するチャレンジマイセルフは、高校生と高齢者の協調で行う未病活動を予定しております。</p>	
<p>27</p>	<p>株式会社神鋼環境ソリューション酒匂川右岸扇町事業所</p>	<p>当社は企業理念に基づき、事業を通じてSDGs達成に貢献し、社会と地球が永続的に調和する「持続可能な社会」の実現を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・扇町水再生センターの運転維持管理業務を実施しています。 ・下水処理施設の運営を通して、酒匂川の水質環境、地域の衛生環境、排ガス規制遵守による大気環境の保全に貢献しています。 ・CO2 排出量年間 1%削減を目標として省エネ活動を推進しており、温室効果ガス削減に貢献しています。 ・扇町水再生センター上部公園維持管理を通じて地域住民ふれあいの場を提供。下水道ふれあい祭りでは様々なお店が出店し住民との交流を深めています。 ・小学生等、下水処理施設見学者の対応を行っており、地域住民に下水道の重要性についてコミュニケーションを実施しています。 ・地域の環境保護団体との協力を通じ、ボランティア活動に参加する機会を提供。 	     

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

28	株式会社神静民報社	<ul style="list-style-type: none"> ・1946年2月に創刊した郷土の日刊紙。「神静」の名の通り、神奈川県と静岡県の間境が発行エリア。現在は小田原市、南足柄市、足柄上郡、足柄下郡および秦野市と二宮町の一部をエリアとし、地域のさまざまな情報を毎日お届けする新聞を発行。取材、記事執筆、編集、組版、印刷までのすべて自社でおこなっています。 ・地域行政、政治経済の話題から、文化活動、市民活動、事件事故、市況に至るまで、地域に密着した情報収集と取材により、公平公正な記事を読者に提供。よりよい地域社会づくりの一助となることを目指しています。 ・地域の新聞社として、文化スポーツ振興事業に注力し、長年にわたり春と秋それぞれのゴルフ大会、官公庁野球大会、西さがみ俳句大会を主催しています。 ・このほかカラー情報紙び〜あーるを月1回発行し、県西部全域に、新聞折り込みやまちなか設置で配布。地域コミュニケーション活性化への寄与を目指しています。 	
29	鈴木美帆税理士事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・障害がある方もテレワークでお仕事をさせていただける環境を整えており、働き甲斐をもってお仕事に取り組んでいただいています。 ・空き家対策に力を入れており、空き家を防ぎ地域活性化につながるためのセミナー等を行っています。 	
30	鈴廣かまぼこ株式会社	<p>物販店舗やレストラン、社屋において食材や再生可能エネルギーの地産地消を実施。また、かまぼこやビールの製造工程で出る魚の皮や骨、絞りかすから作る魚肥を使用した資源循環の取り組みを行っています。さらに環境配慮の取り組みとして水源林の保全やEVステーションの設置、持続可能な資源調達を実施しています。</p>	
32	株式会社スポーツプラザ報徳	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会と会社が共存し、共に成長を続けるため、保育事業、指定管理事業及びスポーツ事業等幅広い事業展開を行い、民間企業としての責務を果たしています。 ・スポーツ事業者として健康運動、体力増進、技術等を通じて利用者の資質の向上を図るとともに、コミュニケーションの場としても展開しています。 ・未病対策のクラスや、障がい者雇用に力を入れ、社会的弱者の不平等を減らせる 	

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

		<p>よう社会貢献にも取り組んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツと英語教育事業をマッチングさせ、質の高い教育体育の場を提供すべく尽力しています。 ・スタッフの自主性を尊重し、働きやすい職場環境を創出しています。 ・公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団と協調し、海と緑の台地を基本ベースに次代を担う青少年の健全育成と幼児から高齢者まで国民の皆様の"心とからだの健康づくり"を推進しています。 ・市、地域及び当事業所との三者による災害協定を結び、災害時における地域の安全安心に協力及び貢献をします。 ・報徳精神である「至誠・勤労・分度・推譲」を社訓とし全事業所が地域社会に貢献しています。 ・憲法、法律を順守し、顧客だけでなく、市民やスタッフも含めたあらゆる人々に公平公正なサービスを提供しています。 	
33	西湘日本中国友好協会	<p>4. 青少年の文化交流を通して質の高い文化交流や育成を行う為に日本、中国の青少年の書道や絵画の交流を小田原、中国河南省安陽市で交互に行っています。展覧会では一般に公開し市民の皆様と共に鑑賞しています。</p> <p>10. 日本、中国を自分の目で見たり、感じたりすることが相互の国を正しく理解するのに必要なことだと思うことから国際交流を推進する。特に文化交流の観点から中国訪問団を出しています。最近では、北京、安陽市、鄭州市、洛陽市への訪中団を出し、安陽市での青少年書画展開幕式には加藤小田原市長も参列されました。また観光だけではなく理解を深める為に相互の首長表敬訪問の機会を作っています。代表団が小田原市を訪問した際には小田原市長表敬訪問、小田原城見学、市内企業視察の案内やガイドを行っています。</p> <p>11. 青少年が小田原の街に愛着をもち諸外国の友人達に我が街を誇りを持って紹介できるようにまちづくりに参加する。そのために積極的に(ホームステイなど)を行っ</p>	

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

		<p>ています。</p> <p>16. 互いの国を正しく知り知人、友人を沢山作ることは平和な社会づくりへと繋がると思いますので優しい中国語の練習、中国事情の講演会、餃子教室など身近なテーマを皆様と共有しています。小田原市内の国際交流協会が行う地球市民フェスタや市民交流センターUMECO祭りに参加したり日中友好のつどいを地元の高校生と連携し行っています。</p> <p>日本日中友好協会、神奈川県日中友好協会に属し国、県、市と連携し、世界平和を促進する民間の国際交流の友好団体です。（今年創立51年になります）</p>	
34	瀬戸建設株式会社	<p>私たちは今後、住宅建築や職場環境の整備を通じ、SDGs の達成に尽力して参ります。</p> <p>近年、高まり続ける介護、福祉、医療分野へのニーズに応え、私たちはサービス付き高齢者住宅や住宅支援ハウスをはじめ、クリニック、障がい者福祉施設など、さまざまな施設の建設を通じ、ご利用者さまのための快適な空間づくりを続けています。</p> <p>また、子育て中の女性が安心して働くことができる環境整備にも取り組んでいます。弊社には多くの女性社員がおり、設計士や営業担当など、各現場の最前線でも女性が活躍しています。</p> <p>さらに、外国人の雇用にも力を入れており、現場監督の中には、勤続約10年の社員も活躍中。2019年にはベトナム人2名を採用し、現在はいずれも現場監督として建設工事に携わっています。</p> <p>「すべての人が健康で、住み続けたいなるまちづくり」に貢献するため、こうした取組に、今後一層力を入れて参ります。</p>	 <p>The image displays ten icons representing specific Sustainable Development Goals (SDGs):</p> <ul style="list-style-type: none"> 3: Health and Well-being (Heart and pulse line) 5: Gender Equality (Gender symbol) 7: Affordable and Clean Energy (Sun with power symbol) 8: Decent Work and Economic Growth (Bar chart with upward arrow) 9: Industry, Innovation and Infrastructure (Cubes) 11: Sustainable Cities and Communities (City buildings) 12: Responsible Consumption and Production (Circular arrows) 13: Climate Action (Globe with eye) 15: Life on Land (Tree and mountain) 17: Partnerships for Goal Achievement (Interlocking circles)

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

35	相日防災株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・当社は凡ての災害より生命と財産を護り、社会の安全に奉仕する事を唯一の目的として様々な角度から継続的な支援に取り組んでいます。 ・災害時対策として、地域住民の方々と共に助する為の備蓄品を準備しています。さらに、防災ヘリポートや太陽光発電設備、電子基準点(地殻変動観測システム)を整備し、災害時の広域活動拠点としての防災協定を小田原市と締結しています。また、昨今の大規模災害時には被災地に赴き、炊き出し等による支援を行ってきました。 ・広く一般の方々が防災を学べる機会として、地震体験車の運行や親子防災キャンプの開催、防災・減災を考える情報の発信等を行い、日頃からの備えと知識を身につける大切さを提言して防災意識を高める活動を行っています。 ・消防用設備のトラブル対応として、24時間365日の緊急出動体制を構築しています。 ・防災用品の販売・企画・開発を手掛け、PB商品(非常用トイレ、緊急用笛等)も展開しています。防災用品の需要と供給を高めるべく、安心安全な暮らしを支える多種多様な商品を取り扱っています。 ・油類、有害液体物質の除去・防止を目的とした油濁防除活動や、非常食を寄付するフードバンク活動に参加しています。 	
36	相洋高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度(2020年度)4月より学校全体の学習活動としてSDGsに取り組んでいきます。 ・まずは教員全員が専門のファシリテーターから研修を受け、共通理解、共通認識を持ってスタートし、順次生徒に下ろしていきます。 ・生徒一人ひとりに対して、まずはSDGsの意味・意義を丁寧にレクチャーし十分に理解させます。その後「探求」授業の中で、身近な社会問題として生徒自身が取り組めるゴールを決め、課題の持続可能な解決方法を考察し、実現に向 	

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

		<p>けての個人の取り組みを実践していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また生徒自らの取り組みを発展させ、新たな課題を解決するために、進路学習とつなげ、大学選びの一つの方法としても考えていきます。 ・さらに生徒会等が中心となり、学校全体で取り組むゴールを定めて、生徒全員に呼びかけて、学校の大きな目標として取り組んでいきます。 ・小田原市のSDGs関連のイベント等には積極的に参加するよう考えています。 ・将来的には、SDGs認定校を目指します。 	
37	<p>損害保険ジャパン日本興亜株式会社 神奈川支店 小田原支社</p>	<p>損保ジャパン日本興亜グループは、「安心・安全・健康に資する最高品質のサービスを提供することで、社会に貢献すること」を目指し、取り組んでいます。</p> <p>① 防災・減災への取り組み 保険商品・サービスなどの提供や組織との協働プロジェクトを展開。(例:ドライブレコーダーによる安全運転支援サービス・新小学一年生へ「黄色いワッペン」贈呈など)</p> <p>② 健康・福祉への貢献 質の高い介護・ヘルスケアサービスなどの提供や健康・福祉の増進に資するプロジェクトを展開。(例:SOMPO認知症サポートプログラムの展開 など)</p> <p>③ 地球環境問題への対応 気候変動への適応と緩和、生物多様性の保全取組を展開。 (例:SAVE JAPANプロジェクト(生物多様性保全活動)への参画 など)</p> <p>④ よりよいコミュニティ・社会づくり 社会貢献活動や地域の文化振興に資する活動への参画。 (例:地域ボランティア活動への参画(車いす整備・清掃活動)など)</p> <p>⑤ ダイバーシティの推進・啓発 基本的人権を尊重し、多様な個性を認め、ダイバーシティを推進。</p>	

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

<p style="text-align: center;">38</p>	<p style="text-align: center;">(株)ダイドーフワード ダイナシティディビジョン</p>	<p>「ダイナシティ」は地域社会のインフラとして商業施設を中心にシネマコンプレックスやギャラリーなどの文化施設、健康のためのスポーツクラブや温浴施設・クリニック、さらに保育園や英語教育施設、そしてオフィスビルなどの街づくりをしてきました。「安心・安全」は開業当初からのテーマで地域の防災拠点としていち早く市や自治会と、災害時や津波避難の協定を結び、防災用品の備蓄を進めています。また、施設のバリアフリー化を進め、全ての人に優しい施設づくりを進めると共に、報徳エネルギーとの連携などによる省エネにも積極的に取り組み、LED化を推進、スマートシティプロジェクトに参画し、電気自動車用の充電ステーションの設置やスマートシティフェア会場として活動してきました。</p> <p>また、ダイナシティ内では、地域との取り組みを強化、キャニオンを中心に数多くの啓蒙イベントや地域文化活動の発表の場として、行政や各種団体と取り組みを継続して進めています。</p> <p>さらには、地域の人憩いの場として敷地内の緑化環境も重視しながら、レジ袋やプラスチックストローなどの新たな課題も商業施設として解決を目指します。</p>	
<p style="text-align: center;">39</p>	<p style="text-align: center;">多古公民館 運営委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多古公民館は、東海道筋から北上する甲州道沿いの五百羅漢玉宝寺に近い、白山神社の境内にある。小田急線足柄駅徒歩 3 分という立地もあり、地区内の交流の基点となっている。公民館は創立 60 周年を迎え、44 区自治会のもと、20 名の運営委員が中心となって年間多くの行事を行い、地区内の歴史と伝統を持つ行事や団体と若い世代の新たな活動を結ぶ交流の接点となることを目指している。 ・春の親子を対象とした地引網等の交流行事、夏の公民館夏祭り、ラジオ体操、秋の白山神社祭典での模擬店運営、地区健民祭への参加、文化祭、冬の餅つき大会、神社初詣での豚汁提供、区内の道路カーブミラー磨き、防犯パトロールや神社の環境整備への協力。小田原囃子多古保存会、多古道祖神祭りや白山神輿会への賛助協力、加えて昨年より、ミニ農園で育てた作物も利用するピザ窯を使った料理教室や区内外への広報と参加を促すための SNS 利用サービスなどを始めた。 	

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

		<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な取組みの体制を構築すべく、次世代の運営の担い手を育てることを目的に、現在子供を中心とした新たな取組み(T-KIDS)を立ち上げようとしている。 ・現在の活動視点を改善すべく女性のアドバイザーを招き、より活性化したイベント、新規サークルの立上げも準備している。 ・環境配慮のメッセージを次世代に伝えるべく、容器回収やごみ削減を考慮したイベント運営を心掛けている。 ・少子高齢化の中で異世代交流の場を積極的に作ろうとしている。 	
40	株式会社 T-FORESTRY	<p>株式会社 T-FORESTRY は地域の持続可能な発展のため、企業・団体と連携し様々な事業に取り組んでおります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 素材木材生産と活用 木材資源、果実・農作物の生産と新しい形での活用 2. エネルギー創出 山林内メガソーラーの設置、小水力発電遺構の活用 3. 生態系保全と林地活用 生物多様性の観点に基づいた森林保全事業と獣害対策の実施 4. 余暇と学習機会の提供 自然共生型フォレストアドベンチャー小田原、フォレストバイク、山林ガイドツアーをはじめとする自然体験・学習・健康増進機会の提供。 また、都心部やインバウンドの観光客の集客。 今後も小田原市における里山としての役割を最適バランスさせ、先人の想いと未来を繋ぐ数百年単位の永続的な美しい森創りを担って参ります。 	 <p>The image shows 16 SDG icons arranged in four rows. Row 1: 3 (Health and Well-being), 4 (Quality Education), 6 (Clean Water and Sanitation), 7 (Affordable and Clean Energy). Row 2: 8 (Decent Work and Economic Growth), 9 (Industry, Innovation and Infrastructure), 10 (Reduced Inequalities), 11 (Sustainable Cities and Communities). Row 3: 12 (Responsible Consumption and Production), 13 (Climate Action), 14 (Life Below Water), 15 (Life on Land). Row 4: 16 (Peace, Justice and Strong Institutions), 17 (Partnerships for Goal Achievement).</p>

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

<p>41</p>	<p>株式会社デコリア</p>	<p>当社は"日々の暮らしを Design する"をブランドメッセージに掲げ、壁紙を通じて持続可能な社会を実現するため企業活動を行っています。</p> <p>○子供たちへの教育の一環として積極的な工場見学開催 小田原箱根大博覧会なりわい体験に参加し小学生へ職業体験提供 インターンシップを受入れによる高校生へ就業体験提供</p> <p>○クリエイティブオフィス"DECOLAB" 商品開発担当として多くの女性デザイナー & 女性技術者が活躍中 神奈川なでしこブランドの認定商品が誕生</p> <p>○省エネ・クリーンエネルギー 省エネに役立つ商品を開発し市場に提供 生産設備の省エネ化実施による CO2 削減</p> <p>○住み続けられるまちづくりへの協力 安心安全な住空間の提供 地域にお住まいの方々に対する様々な社会貢献実施 地元団体・企業とのコラボによる小田原の魅力を発信</p>	
<p>42</p>	<p>株式会社 東海ビルメンテナンス</p>	<p>当社はビルメンテナンスを行う事業者として、社員一人一人が「信頼」「協調」「感謝」の社是の下、「顧客・現場第一主義」の基本方針に基づき、お客様の様々なニーズを満たすソリューションを提供できる「ビル総合管理」を目指しています。</p> <p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理品質を向上させる為 定期的に従業員に対する技術研修を実施、個々のスキルアップを目指しています。 ・ISO14001:2015 の規格に基づく環境マネジメントシステムを構築、環境汚染の防止及び環境保護に努めています。 ・就業収入の安定及び労働環境の整備を図り働きやすい環境づくりに取り組んでいます。 	

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

		<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢、性別、人種等の差別を撤廃した平等な就業環境づくりを目指しています。 ・施設の高寿命化を図る為 中長期的な修繕計画を作成し顧客への提案を実施。 ・障がい者、外国人の積極的な雇用を実施しダイバシティ社会を構築中。 ・外注(協力)会社とのパートナーシップを構築、官民連携、市民、海外の大学との連携を図っていきます。 <p>SDGsは、当社の基本理念の一つである「地域」「社会環境」を考える会社になるように相通じるものがあります、今後もより一層地域のパートナーとして経済・社会・環境の発展に寄与するよう活動していきたいと考えております。</p>	
43	東京サラヤ株式会社南関東支店町田出張所	<p>2007年より「ヤシノミ洗剤」など対象商品の売上1%で原材料産地のボルネオ島の熱帯雨林を守る活動を支援してきました。2010年からはユニセフと共同でアフリカ・ウガンダの子どもたちの命を守る「100万人の手洗いプロジェクト」をスタート。2012年には現地法人を設立、アルコール手指消毒剤を現地生産。「病院で手の消毒100%プロジェクト」を立ち上げ、東アフリカの院内感染改善に貢献してまいりました。そのような取組を評価をいただき2017年に第1回「ジャパン SDGs アワード」SDGs推進副本部長(外務大臣)表彰に受賞致しました。</p>	

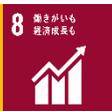
おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

44	中谷産業株式会社	<p>・創業70周年を迎える製造業として、主にプラスチック成形品の生産、販売を行っております。今、世界的な問題でもある”プラスチック”というキーワードから避けて通る事は出来ず、弊社がつくる責任、排出業者からこのSDGsの目指すゴール、これからの社会に貢献していく取り組みを小田原市に本社がある企業として参加を希望しました。弊社はプラスチック製品の開発から金型製作、製造販売を関連グループと協力会社含め一貫して商品化する事ができる企業です。</p> <p>・最近では工場ですーマルリサイクルになるプラスチック商材を”キューブブロック”状に固めCNC（機械工作機）で希望の形に加工する事で、世界で1つの商品を金型無しで安価に生産しCO2排出削減を達成しました。</p> <p>勿論リサイクル材限定でなく、バージン材料、バイオマスプラスチック、生分解性樹脂での生産も可能であり、3Dプリンター、光造形の技術とは違い、色味、デザイン的にも優れ、フレキシブルなプラスチックを使用したものづくりが可能です。</p> <p>・各社工場で排出されるプラスチック製品、3R（リデュース、リユース、リサイクル）を行う事で、廃棄物削減、循環型、地産地消社会を目指す事に努力、協力しております。</p> <p>・実例としてペットボトルキャップを回収～選別、粉碎、リサイクルペレットに加工しホイッスルオープナー自社商品化の実績等もあり社会に貢献しております。</p>	
45	株式会社ハウスパートナー 森のイオン販売所	<p>大気汚染が問題視されている現代、自然豊かな小田原を拠点に【心と身体に健康】をコンセプトに植物成分フィトンチッド拡散器の販売・リースを行っております。</p> <p>・お子様からご高齢者の方まで安心・安全な暮らしの環境改善に努めると共に、小さいお子様のいるお母様やひとり親世帯など思う様に働けない方でも御自身のペースで仕事ができるようにお子様の行事や急な体調不良など、優先して頂き空いた時間を利用して仕事ができる働き方を推進させて頂いております。</p> <p>・子どもやお母さま方のコミュニティ団体の方々とは交流する機会が増え、当社でも団体の方々とは連携したイベントの開催、地域活性化の発展に率先して寄与致します。</p>	

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

		<ul style="list-style-type: none"> ・店舗の空き時間を利用してお子様とお母様方々が交流、ふれあえる開放スペースを提供しています。 ・店舗のフリースペースを活用し、地域の方々の手作り作品の展示・ワークショップ等に活用して頂けるよう企画しております。 	
46	<p style="text-align: center;">畠山環境技術士事務所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境を保全するためには人々の環境に対する意識を高めていく必要があります。特に未来を担う子供たちへの環境教育は重要です。生物多様性、地球温暖化対策、省エネ・省資源の大切さを、マジックを交えて楽しく小田原市内の小学校や全国の子供たちに教えています。 ・自然環境を保全するには、対象地域にどんな動植物が生息・生育しているかを把握する必要があります。そのための生物調査をセンサカメラによる定点観察、ラインセンサス法、ドローンによる空撮などにより実施しています。調査結果として地理情報システムを利用した植生図の作成などを行います。以下に実績例を示します。 <ul style="list-style-type: none"> ・東京都内の大規模公園におけるドローン空撮および水生植物植生図作成 ・愛知県内の湖沼におけるドローン空撮 ・静岡県内の企業の工場敷地の生物調査 ・野鳥が暮らせる環境を保全・創出することはその地域の生態系を保全していくことに繋がります。シジュウカラやヤマガラなどは樹木の洞に営巣しますが、自然破壊により営巣に適した樹木が少なくなってきました。これを補完する巣箱等の製造・販売を行っています。これまで全国 159 ケ所に出荷し、地域生態系ネットワークの構築に貢献しています。 	
47	<p style="text-align: center;">特定非営利活動法人報徳 食品支援センター</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 企業や家庭で余剰となった食品を無償でもらい受けて、それを必要とする生活が苦しい方に無償で提供するフードバンク活動です。SGDs12-3 の食品ロスを2030年までに半減させる目標に沿って具体的に行動します。 ② 2020年2月から具体的な活動を開始しました。 ③ 小田原市を中心とした2市8町の食品工場や流通企業から発生する余剰食 	

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

		<p>品の提供を求めると共に、市外の企業からの提供も受けます。</p> <p>④ 配布対象は、基礎年金だけで暮らす独居高齢者や母子家庭、障がい者施設、困窮者の共同生活施設などです。</p> <p>⑤ 家庭での食品ロスを減らすキャンペーンも実施します(フードドライブ)。</p>	
48	株式会社ポスト広告	<p>ポスト広告は、地域の生産・流通・消費のパイプ役として、また、経済や文化の調和的発展に寄与をすることを企業目標としています。 主要事業の「まちの情報紙ポスト」では、地域活性につながる様々な情報を掲載。地域を取り巻く課題解決に向かうことを、メディアという立場から喚起・啓発しています。</p> <p>また、様々な人や団体と連携し、イベントの企画や実行、PRを行うことで、多くのパートナーシップの実践を積み重ねています(※)。 人と人・人と社会をつなぎ、地域と一体となった広告代理店として、この地域の未来の繁栄に尽くすことが当社の使命です。</p> <p>※「小田原七福神会」「小田原音楽フェスティバル実行委員会」「小田原プロモーションフォーラム」など</p>	
49	堀内ウッドクラフト	<ul style="list-style-type: none"> ・FSC 森林認証のCOC認証を15年維持しており、認証木製品を作り続けています。 ・また、FSCジャパンの認証普及イベントなどに積極的に参加しサポーターとしています。 ・地域材、流域材も積極的に調達し木製品を製造しています。特に弊社は小田原市誕生祝い品のおもちゃを製造しており、木育や地域材の良さや、森林の大切やなどの概念の普及などにも貢献しています。 	           

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

			
50	NPO 法人 mama's hug	<ul style="list-style-type: none"> ・産前産後の鬱をなくすために必要なコミュニティを作る。 ・子どもを預けなくても働ける場所を作る。 ・地域で子育てをサポートする場所を作る。 ・海、山、川を守る洗剤工場を子育て中の母親主導で立ち上げる。 ・企業を巻き込んだ母親の特色を生かした就労支援をする。 ・相談相手にもなれ、身近な子育てサポーターにもなるベビーシッターを育成し、その資格を母親たちの職に役立たせる。 ・一対一で預かる従来のベビーシッターではなく「見守り託児」と言うお互い様育児のシステム作り・母国語を日本語としない母親たちのためのサポート体制を作る。 ・学生インターシップを受け入れ次世代の育成をする。 ・不登校児とその保護者向けプログラムの提供と研究。 	     
51	万葉倶楽部株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な個性を持った人たちが、それぞれ「あたりまえ」に生きていける社会をつくりたい。そんな思いから障害者就労支援B型事業所を運営し、利用者がより大きな社会に羽ばたけるよう、全力でサポートしています。 ・映画「二宮金次郎」のスポンサー企業として、映画上映や社員教育セット販売を通じ、報徳思想教育の普及に努めています。 ・小田原駅東口に12月開業予定の施設「ミナカ小田原」にて自由に利用できる2か所の市民広場及び足湯を設置、憩いの場としてまた交流の場としてまちの活性化にも力を入れています。 ・湧水を近隣施設にも提供、省エネ型給湯ボイラーを使用、太陽光発電事業への取り組み、電気自動車充電設備設置及びカーシェアリングへの取り組み等、クリーンエネルギーの使用及び省エネルギー化を進め地域の環境保全に努めています。 	    

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

		<p>・老朽化したマンションの建替再生事業も行い、暮らしやすく住み続けられるまちづくりにも取り組んでおります。</p>	
52	小田原市内郵便局(25局)	<p>・全国どこでも、誰でも一律に郵便・貯金・保険のサービスが受けられるようにするという社会的使命を果たすため、郵便局ネットワークの維持・強化を行っています。</p> <p>・小田原市と包括連携協定や防災協定を締結し、市民への情報提供、安心・安全のための協力を行っています。</p> <p>・証明書交付事務やプレミアム付商品券の販売等により、地域の活性化をお手伝いをしています。</p>	
53	ライオン株式会社 小田原工場	<p>「限られた資源を大切にしながら、人々の生活の向上を目指す」を環境スローガンとして、全従業員が生産活動を継続しています。主な活動をご報告します。</p> <p>【生物多様性保全】 絶滅危惧種「酒匂川水系のメダカ」の里親制度に参画。工内の池で育成し、小田原市への返還を継続しています。</p> <p>【環境美化と地域対話】 月1回周辺ゴミ拾いを実施。また、工場北側に流れる関口川の清掃活動に自治会・近隣企業と共に参加。美しい河川環境づくり並びに地域対話を心掛けております。</p> <p>【未来を担う世代への教育】 近隣小中学校の生徒さんをはじめ、一般の方々への工場見学会を定常的に、また、夏休みには親子見学会を開催。オーラルケア習慣の定着化等の啓発を行っています。</p> <p>【環境マネジメントシステム】 工内に環境管理体制を組織化。生産に伴うエネルギー及び廃棄物の管理を中心に部会活動を推進。省エネ並びに廃棄物削減施策を従業員自らが知恵を出し合い取り組んでいます。また、環境管理のトータルマネジメントとしては、国際規格であるISO14001を取得・継続し、PDCA 管理を推進しております。</p> <p>これらの活動に取り組むことにより、SDGs が目指す世界の実現に貢献して参ります。</p>	

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

54	わをん	<p>わをんは皆さまの心の渇きを癒し、そして元気にする「水のような音楽」を届けたいと2013年より活動する音楽ユニットです。「音楽のもつ力を信じ、人の心に潤いを」という行動は、これからの持続可能な目標達成に向けて活動される皆様のストレス緩和としての貢献度は高いと考えております。コンサート施設ほか福祉施設、歴史的建造物、教会、お寺、神社など小田原を中心とした様々な場所で年間50本以上の公演を行い、年代、性別などにとらわれず、音楽によってもたらされる癒しや気力回復の効用を提供しています。実際、お客様から多くの「元気になった」「癒された」「救われた」との声を伺っております。わをんの公演を媒介にして、地域の方々の繋がりが生まれ、微力ながらも地域共生の一翼も担っていると自負しております。またCD売上金の一部を使用して被災地支援もさせていただいております。これからも今まで以上に小田原を愛し、音楽活動を通じて、SDGsの目標達成、維持可能なまちづくりの実現を目指して参ります。</p>	 <p>3 3 すべての人に健康と福祉を 10 10 人や国の不平等をなくそう 17 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>
55	NPO 法人 和の文化塾	<p>日本の生活文化は、母から娘へと何世代にも亘り継承されてきました。その内容は、暮らしを営む上で必要不可欠な事柄をはじめ、相互扶助精神、子供の教育、年中行事や通過儀礼時の処し方など多岐にわたりました。</p> <p>しかし、近年の急激な社会変化に伴う核家族化、あるいは女性の社会進出により「日本の生活文化継承形態」が崩壊しつつあります。その結果、離婚の増加・子育て世代の貧困・DV や虐待など様々な問題が多発し、社会を構成する最小単位である家庭が、崩壊の危機に瀕しています。</p> <p>こうした現状を憂い、当会では、これまでとは異なる、新しい継承形態を構築し、日本の生活文化を持続可能なものにするべく、以下の活動を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暮らしに関わる様々な情報を発信する「場」を創設し、講座やワークショップを介して紹介します。 ・品位と美しさに満ちた「生活芸術」を取り入れた、質の高い暮らしの提案をします。 ・市民参加型の活動といたく、小田原市及び近郊に在住する女性を対象とした「生活 	 <p>4 4 質の高い教育をみんなに 8 8 働きがいも経済成長も 11 11 住み続けられるまちづくりを</p>

おだわら SDGs パートナー（令和2年3月登録）の活動概要と掲げるゴール

		<p>文化アドバイザー（講師）」養成会を行い、暮らしに関わる知識が伝えられる人材の育成を行います。</p> <ul style="list-style-type: none">・シニア世代の有資格者が、生きがいを持って活躍できる場を提供します。	
--	--	--	--